月刊IT総合情報誌
M&D Report
Multimedia and Distribution
2006.8

中古PC市場 PART2

拡大基調が強まる中古PC市場

前号では、量販店系の中古パソコンショップの販売と仕入に関する動向をまとめた。今号では、中古パソコンのデータ消去事業者と中古パソコン販売の専門店の取り組みをまとめる。また、経済産業省の告知不足などから施行時に混乱を呼んだ電気用品安全法（PSE法）の中古パソコン市場への影響をまとめる。

ブロードリンクの催事販売風景

■独自の販売手法により業績を拡大
（株）ブロードリンク

ブロードリンクは代表の榊（さかき）　彰一（しょういち）氏が2000年に設立。元々は中小企業向けOA機器販売会社であったが、顧客の中小企業を回る中で「中古でもいいから安いOA機器が欲しい」というニーズが高かったことから、OA機器の中でも特に中古パソコンに着目。中古パソコンの仕入販売事業を展開し、現在に至っている。同社は独特の販売手法で、急速に業績を伸ばしており、中古パソコン業界から注目を集めている。そのビジネスモデルは、独自のルートで仕入れた中古パソコンを全国の百貨店・大手スーパーマーケット（イトーヨーカドー、イオングループ、ダイエー、イズミヤ、他多数）・ショッピングモール・書店等の催事スペースを活用し、『ぱそこん生活』の店舗名で、ビギナー層を中心に販売。

また、全国のラジオ番組でインターネット回線とバンドルさせて通販でも販売を行っている。月間の中古OA機器の取扱件数は1,000件以上で、パソコン本体（ノート型・デスクトップ型・サーバ系）の他、パソコン周辺機器（モニター・プリンター・ストレージ他）、各種通信ネットワーク機器（ルーター・TA・FAX他）、OA機器（ビジネスホン・コピー機他）、各種オフィス家具、その他事務用機器も取り扱っている。

http://www.broadlink.co.jp/top.htm

中古パソコンの仕入れは、自社便によるリースアップしたパソコンの引揚（全国）を行い、川崎市にある400坪のヤードでデータ消去を行った後、マイクロソフトのOEM版のOSを再搭載し、全国の催事店舗『ぱそこん生活』に供給し、ビギナーを中心とした一般のユーザーへ再販されるという流れになっている。

催事場で販売される中古パソコンの平均販売価格は約5万円で3～5年前のモデルが多く、ターゲットとしているユーザーは子供や女性などのパソコン初心者。初めてパソコンを購入するユーザーや2台目の購入を検討しているユーザーに、低価格でパソコンを提供している。中古パソコンであっても同社では、電話サポートや製品保証サービスも用意しており、初心者でも安心して購入できる体制を構築している。

また、同社は、企業・家庭内におけるIT・ブロードバンド環境の整備をトータルに支援するという事業コンセプトのもと、これら分野に関連する各種商品・サービスの取扱いを募集しており、設立以来の豊富な経験、実績、顧客・販売ネットワークをもとに提供商品・サービスの紹介及び販売を請け負っている。

今後の展開に関しては、「現在、株式の上場準備中であり、初心者向け中古パソコン市場においてNo.1をめざしたい」としている。

P.3
データ
P.7
トレンド
P.9
対談
P.15
経営
P.19